

贈りたい 本 大賞

—大切な人に贈りたい | 冊—

大賞受賞作

平成 29 年度 やまなし読書活動促進事業

本を贈ろう

山梨県立図書館 館長 阿刀田 高

幼いころ母から絵本を一冊贈られた。とても美しい本だった。世界が大きくなった。うれしかった。いくつかの絵がらは今でも覚えている。

少年になって父から英語辞典を買ってもらった。身が引きしまった。世界が広がった。その知識は今でも私を支えている。

父母が懐かしい。本は心に残るものだ。頭に残るものだ。中身も姿も尊い。心を込めて本を贈ろう。それは、今でしょ。



山梨県立図書館

〒400-0024 山梨県甲府市北口 2 丁目 8-1

TEL 055-255-1040 / FAX 055-255-1042

<http://www.lib.pref.yamanashi.jp/> 平成 29 年 11 月 2 日発行

大切な人に本を贈ることは、あなたの“想い”を伝えること。

本は、あなたと贈られた人との心を通い合わせ、絆を深めます。
愛する人へ、大切な家族へ、可愛い孫へ、かけがえのない友へ……。
もしあなたが様々な場面で、大切な人に本を贈るとしたら、
どんな本を、どのような理由で選んで贈りますか？

応募総数 3,017 点。みなさまからいただいた、たくさんの“想い”。
さまざまな想いを、ありがとうございました。



お母さんへ

鈴木莉々佳さん（長坂小学校）

『うまれてきてくれてありがとう』

にしもと よう／ぶん 黒井 健／え 童心社

私は、お母さんが大好きです。どうしてかということ、優しくしてお母さんが笑っているのを見ると、私も笑顔になることができるからです。もし、この世界にお母さんがうまれていなかったら私も生まれていないので、お母さんに生まれてきてくれて、私をうんでくれてありがとうと本で伝えることができたらいいなと思いました。



母へ

伊藤音和さん（竜王北中学校）

『天国までの百マイル』 浅田 次郎／著 朝日新聞社

母が泣いているのを見たのは久しぶりでした。祖母が二年間の闘病生活の末、息を引き取るまでの母の努力は、周りの人の心を動かしていました。そんな母と似ている主人公が、この本には描かれています。母のためにひたすら努力する主人公の姿と自分の姿が重なったとき、母にしか分からない感情が芽生えてくると思います。

No image

画像はありません

友達へ

末木七海さん（甲府昭和高等学校）

『きみの友だち』 重松 清／著 新潮社

本当の友達ってなんだろう。親友と喧嘩した私はこの本を読んでそう思った。「いなくなっても一生忘れない友だちが、一人、いればいい」この文を読んだ時私は喧嘩中の親友の顔が思い浮かんだ。自分の気持ちを正直に伝える事が苦手な私だけど、「ごめんね」の気持ちと一緒に本当の友達を覚えてくれたこの本を贈りたい。



長男へ

木下久美子さん（甲府市）

『こども孫子の兵法』 齋藤 孝／監修 日本図書センター

末っ子長男は、友達の強いことばに言い返すことができず、悔し涙を流すことがある。そんな時に「こども孫子の兵法」に出会った。こども向けに相手を知る努力をし、勝つために頭を使い、時にはかけひきも必要と説く。きれいごとではなく強く柔軟な心を育て、現代を生き抜くヒントを与えてくれる。この本を長男の机にそっと置こう。

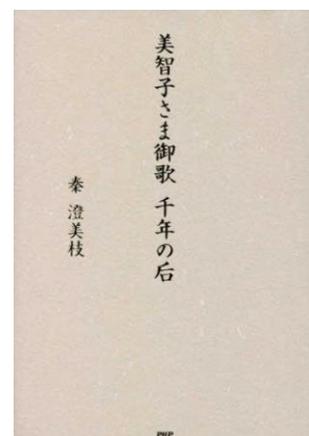


姉様へ

土屋達江さん（南アルプス市）

『美智子さま御歌 千年の後』
秦 澄美枝／著 PHP研究所

足が悪く図書館迄も行けない読書の好きな姉様に私が一気に読んでしまった「美智子さま御歌 千年の後」を推薦致します。8月16日の戦没者追悼式の新聞。天皇様を気遣う優しい目差し、そのままの御歌です。一粒の桑の実の重さから、「遠白く夕暮れてなお光あるらし」と歌われている深い想いが美しい言葉で詠まれており心が洗われる思いです。



贈りたい本大賞 優秀賞

相田春美さん（甲府市）「大好きな孫 廉へ」

『ずーっとずっとだいすきだよ』（ハンス・ウィルヘルム／えとぶん 久山太市／やく 評論社）

卯月碧さん（猿橋中学校）「小学校の担任だった先生へ」：『ツバキ文具店』（小川糸／著 幻冬舎）

岡部麻紗子さん（山梨英和大学）「友人へ」

『のろのろひつじとせかせかひつじ』（蜂飼耳／作 ミヤハラヨウコ／絵 理論社）

小池奏絵さん（甲府西高等学校）「自分自身へ」

『強く生きる言葉』（岡本太郎／著 岡本敏子／構成・監修 イースト・プレス）

小泉佐季さん（北杜高等学校）「家族へ」：『がんばらない』（鎌田實／著 集英社）

小平守莉さん（甲府南高等学校）「「何か」に立ち向かう人達へ」

『獣の奏者』（上橋菜穂子／作 講談社）

近藤真由美さん（甲斐市）「迷っている人へ」：『人をつくる言葉』（大村智／著 毎日新聞出版）

佐藤愛凜さん（田富中学校）「お母さんへ」：『君の臍臓をたべたい』（住野よる／著 双葉社）

佐野敏昭さん（習志野市）「二女の琴美さんへ」

『電池が切れるまで』（宮本雅史／作 石井勉／本文絵 角川学芸出版）

清水彩希さん（甲府昭和高等学校）「周りの人を大切にすあなたへ」

『置かれた場所で咲きなさい』（渡辺和子／著 幻冬舎）

精進利恵さん（山梨市）「5歳の息子と3歳の娘へ」

『うまれてきてくれてありがとう』（にしもとよう／ぶん 黒井健／え 童心社）

田中里奈さん（甲府南高等学校）「祖父へ」

『明日をひらく言葉』（やなせたかし／[著] PHP研究所）

田原聖斗さん（市川高等学校）「親へ」：『カラフル』（森絵都／著 文藝春秋）

藤田夏菜子さん（南アルプス市）「高校時代の友人へ」

『スタンド・バイ・ミー 恐怖の四季 秋冬編』（スティーヴン・キング／[著] 新潮社）

藤村芽衣さん（甲府南高等学校）「気分が晴れない人へ」

『アンの青春』（モンゴメリ／[著] 村岡花子／訳 新潮社）

堀内香那さん（韮崎高等学校）「母へ」

『人はいくつになっても美しい』（ダフネ・セルフ／著 [増田沙奈／訳] 幻冬舎）

松本哲彦さん（高松市）「小学校三年生の孫へ」：『しろばんば』（井上靖／[著] 講談社）

三野ひなさん（相川小学校）「お母さんへ」

『わかったさんのアイスクリーム』（寺村輝夫／作 永井郁子／絵 あかね書房）

宮澤三重子さん（富士川町）「娘に」：『良寛心のうた』（中野孝次／[著] 講談社）

武藤直輝さん（竜王北中学校）「お父さん・お母さんへ」

『5分後に意外な結末 1 赤い悪夢』（学研教育出版）

米山愛さん（玉幡中学校）「父へ」

『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』（喜多川泰／著 サンマーク出版）

横山拓海さん（甲府南高等学校）「時間に追われる人々へ」

『モモ』（ミヒヤエル・エンデ／[著] 大島かおり／訳 岩波書店）

李ハウンさん（韮崎工業高等学校）「お母さんへ」：『母性』（湊かなえ／[著] 新潮社）

渡邊諄さん（韮崎工業高等学校）「親友へ」

『星の王子さま』（サン＝テグジュペリ／作 内藤濯／訳 岩波書店）

学校賞

阿刀田高賞

山梨県立韮崎工業高等学校

甲斐市立竜王北中学校

特別賞

自然学園高等学校

上野原市立西原小学校

山梨県立市川高等学校

山梨県立甲府昭和高等学校

山梨県立甲府南高等学校

山梨県立白根高等学校

山梨県立北杜高等学校

中央市立田富中学校

甲斐市立玉幡中学校